

“生きている箱根”

箱根ビジターセンター

約三千年前、箱根火山最後のマグマ噴火でできた冠ヶ岳^{かんむりが}は、ビジターセンターから眺めるとちょうどクマさんの頭のように見えます。ゆったりと横たわるクマさんのお腹の部分に位置するのが大涌谷です。いつもは白く透き通った噴気がフワフワと立ち昇る穏やかな風景でした。

5月初旬、黄色く濁った噴気がクマさんを覆うように立ち込めました。同時に体に感じる地震も度々起こるようになると火山警戒レベルが引き上げられ、大涌谷から神山周辺の立ち入りが禁止されました。

5月中旬、新緑のクマさんの頭にトウゴクミツバツツジの赤紫色の点々が見え始めました。その林床にはアカバナヒメイワカガミのピンク色の絨毯が広がっているはずです。多くのハイカーが楽しみにしている光景を今年



は誰も見ることはできませんが、火山のストレスに強いアカバナヒメイワカガミは、人気ない森の中で伸びやかに花を咲かせ、来年はきっといつもより美しい姿を私たちに見せてくれることでしょう。

箱根の美しい自然は、火山の賜物です。そして、その火山は今もなお生きて活動しているのです。山に響く噴気音を聞きながらあらためてそう実感しています。(石原)

俳句ing -ハイキング- のすすめ

宮ヶ瀬ビジターセンター

自然の中に身を置いた時、その場の音・香・色・温度などから様々な感情が湧いてきます。また、花や鳥などを発見した時の喜び、苦しい思いをして山頂に到着した時の達成感は何ものにも代えがたいものです。

このような感情や気持ちなどを、ちょっと遊び心をもって記録してはいかがでしょうか。日本文化の中に俳句があります。

ご存知の通り、五・七・五の17文字で感情や感覚で表すものです。本来であれば、季語を入れることや、文字数を守ることが求められますが、そこにこだわらずに、季語なし、字足らず、字余り可で、その場で感じたこと、見たことなどを手帳に書き込んでみませんか。

自然の中で一句ひねれば、普段は気づかない、自分の内面に気づくかもしれません。ぜひチャレンジを。(青木)



自然公園へでかけよう

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 愛甲郡清川村宮ヶ瀬 940-15
Tel 046-288-1373 Fax 046-288-1162
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立西丹沢自然教室

〒243-0111 足柄上郡山北町中川 867-2-9
Tel 0465-78-3940 Fax 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下 1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanove/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164
Tel 0460-84-9981
<http://www.mm.jp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

